

クリエイティブスペースあびす屋(岐阜県瑞浪市)

あびす屋利活用事業

作成時点：令和8年3月

旧呉服屋ビル ▶ 商業施設

基本情報



写真出所：瑞浪市提供

位置図

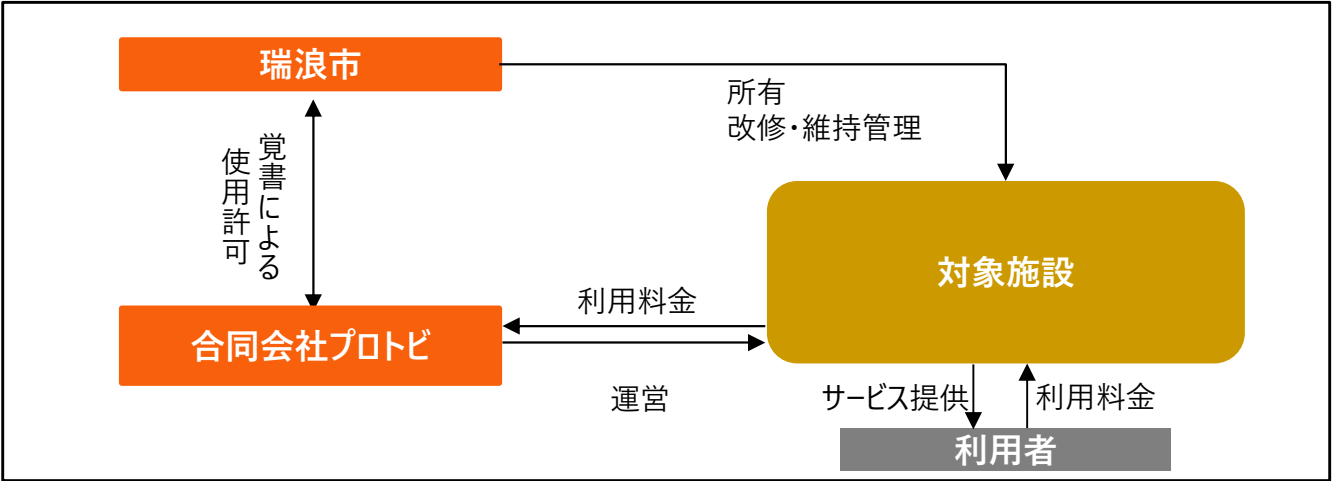
岐阜県瑞浪市寺河戸町1146-8



電子国土基本図（国土地理院）を加工して作成

事業主体	岐阜県瑞浪市（人口：34,771人 ※令和8年1月現在）
事業手法	覚書による使用許可
民間事業者の業務内容	・運営業務（チャレンジショップ・インキュベーションオフィス）
事業期間	1年間の年次更新（令和3年～）
事業費等	・改修費 約10百万円 （使用に伴う光熱水費等の実費は事業者が負担）
活用した補助金	・なし
事業者	合同会社プロトビ（市内企業）
事業経緯	・平成29年 市が建物取得 ・平成30年 地域活性化のために暫定利用を開始 ・令和2年 改修工事 ・令和3年 供用開始

事業スキーム図



掲載内容に関する 問合せ先	瑞浪市建設部シティプロジェクト推進課 TEL：0572-68-9270 Email：cityproject@city.mizunami.lg.jp
------------------	---

クリエイティブスペースゑびす屋(岐阜県瑞浪市)

作成時点：令和8年3月

旧呉服屋ビル

商業施設

検討経緯

- 平成27年より瑞浪駅南側で市街地再開発事業が検討されており、エリア内にある旧呉服屋「ゑびす屋」ビルを市が取得。**市街地再開発事業が始まるまで、暫定利用**されることとなった。
- 平成30年より、中心市街地活性化のためのまちづくりイベント等で活用されていた。
- その後も継続的な活用のための検討がなされ、令和2年にキッチンの取り換え、床面やトイレの改修、エアコンの設置を行った。**令和3年より、市と合同会社プロトビが覚書を結び、チャレンジショップ及びインキュベーションオフィスとしてオープンした。**

取組のポイント

- 将来は市街地再開発事業により解体されることが決定しているため、修繕へ多くの費用をかけることができなかった。そのため、**今後整備予定の建物へ導入する機能を検証する社会実験の役割を担うこととなった。**
- 瑞浪駅周辺エリアのまちづくり事業者（現在運営事業者）と、検討会議を重ねる等密な連携をすることで活用の道筋が立った。
- 運営事業者の賃料や契約書作成の負担を減らすため（使用貸借ではなく）覚書による使用許可とし、市と事業者が互いに試行錯誤しながら運営している。

得られた効果

- 将来、店や事業所を開きたい人が、チャレンジできる場所として活用されている。コロナ禍では利用者が減少したものの、地元の劇団を含め週に1から2回程度活用されている。また、駅前広場や近隣のビルと連携し、**市街地再開発事業等を契機としたまちづくり機運醸成のためのイベント**が実施されている。
- 解体が決定しており、活用できる資金も限られている中、チャレンジショップやイベント場所等の社会実験のためのスペースとして活用することで、**将来につながる目的を持った有効活用**がなされている。

■ 利活用前

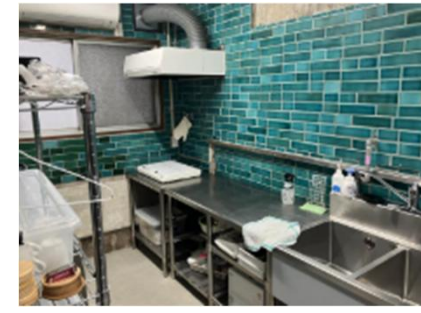


写真出所：瑞浪市提供



写真出所：瑞浪市提供

■ 利活用後



写真出所：瑞浪市提供

